

新温泉町長賞

小学校低学年の部

照来小学校 一年 西村 優大

ぼくは、おいごでとれるおこめが大好きです。かんだら、あたたかくて、とてもみずみずしいです。みおでとれるおさかなもだいすきです。さしみがとてもおいしくて、おじいちゃんのおいえにいくときは、いつもおなかいっぱいたべます。やいたおさかなもおいしいです。しんおんせんちようには、おいしいものがたくさんあります。

ぼくは、ぼくじようこうえんへよくいきます。どうぶつをみたり、ひろばであそんだりします。ふゆには、そりもします。やまがたくさんで、みどりがいっぱいです。かぜもきもちいいです。

ぼくは、みおでつりもしました。さかながたくさんいます。うみでおよぐのもきもちがいいです。とてもきれいです。

やまとうみがきれいなしんおんせんちようを、みんなにみてほしいです。

小学校高学年の部

浜坂北小学校 六年 諸道 竜馬

ぼくは、この新温泉町が大好きです。理由は四つあります。一つ目は、食べ物がおいしいからです。漁獲高全国一のホタルイカや有名な松葉ガニはもちろんのこと、海でとれる新鮮な魚介類は

とてもおいしいです。そして、但馬牛は世界にほころぶことができるとおもいます。二つ目は、温泉があることです。湯村温泉・七釜温泉・浜坂温泉があつて、入るとほっこりしたい気持ちになります。湯村や浜坂は、各家庭に温泉が引かれていて、家のお風呂でも温泉に入れます。聞くところによると、蛇口をひねると温泉が出るようなところは少ないそうです。ぼくたちはとても恵まれているんだなあと思いました。三つ目は景色がきれいだからです。新温泉町は、海と山に囲まれてとてもきれいです。山陰海岸ジオパークは絶景です。冬には雪が降るので雪景色も楽しめます。四つ目は、この新温泉町の人たちの優しさです。登下校の時には、「おはよう。」「おかえり。」など、よく声をかけてくれます。それに、ぼくが重いカバンを持つていたら、「大丈夫か。」と言って、カバンを家まで持つてくれたこともありました。あの時は本当にうれしかったです。このように、新温泉町の人たちは、この町にある温泉のように心が温かいなあと思いました。

ぼくは、新温泉町が大好きなので、大人になっても新温泉町にずっと住みたいと思います。そして、ぼくもお父さんやお母さんのように、新温泉町のために役に立つような仕事をしたいと思います。この大好きな新温泉町の豊かで美しい自然を守り、観光や産業をもっとさかんにし、み力にあふれたすばらしい町にして、たくさんの方が訪れてほしいと思います。そして、都会に住んでいる人たちが、「豊かな自然に恵まれた新温泉町で暮らしてみたい。」と思うような、優しく、温かい町にしていきたいなと思いました。

毎朝、サイレンが鳴るたびに、今日もセリとともに、にぎやかな一日が始まるんだなと感じます。活気がある市場には、漁師さんたちの大きな声が響きます。

私のふるさと、諸寄の海の美しさは、他のどの地域にも負けないう自信があります。夕方になると海は夕日に照り映え、町全体が美しく輝きます。自然が豊かで、とても住みやすい町。コンビニや大型店に行くには少し時間がかかり、中学生にとつては不便だと感じる時もあります。でも、この町には、自然ととともに、人の思いやりがあります。私は、この町が大好きです。

この町には、いつも私たちのことを気遣う温かい言葉があふれています。町を歩くと、地域の方から「行つてらっしゃい。」「おかえり、今日、学校は、どうだった？」など、いろいろな言葉が聞こえてきます。また、困っている人がいると、たくさんの人たちが支えてくれます。まさに、「一人はみんなのために。みんなは一人のために。」という心が生きている町だと思います。

また、七月になると、世代を越えて、町の人たちの笑顔が集まる祭りがあります。諸寄為世永神社の麒麟獅子舞は雌雄の二頭舞で、中学校の友だちも、笛や獅子で祭りを盛り上げています。町の力、人の力を感じる祭り。しかし、この歴史と伝統のある祭りを支える人の数が減ってきているように思います。新聞やニュースなどで見る「少子高齢化」は、私たちの町にとつても大きな課題なのだと、改めて実感しました。だからこそ私も、地域の方のように、積極的に挨拶をしたり、笑顔で話したりすることを大切

にしたいです。そして、どんなときも「絆」を大切にしている諸寄の町のような人間になりたいと思います。そして、この伝統的な祭りを、これからもずっと受け継ぎ、残していきたいです。

私は、何年も諸寄に住んでいます。知らないことはたくさんあります。これからもっと、自分のふるさとについて知っていきたくと思っています。未来の諸寄が、私たちの町が活性化し、元気になっていくために、私たちの世代から盛り上げていきたいです。

その一歩として、地域の行事に参加するなど、地域の方々と交流をしたり、その中でたくさんの方のことを学んだりすることも大切だと思います。今、浜坂中学校では、生徒会が中心となって、浜坂駅の清掃をしたり、地域のお年寄りの方とともにあいさつ運動をしたりする取り組みを行っています。学校から地域へと活動の幅を広げ、多くの方と出会い、話し、学ぶ機会を経験することで、浜中生は、少しずつですが自分の世界を広げていることを実感しています。

地域の方々からもらった温かさを、私自身も多くの人に伝えていけるように。それが、今、私たちの世代に必要なことだと思います。

新温泉町議会議長賞

小学校低学年の部

浜坂東小学校

一年

松本 まつもと

葉愛斗 はあと

ぼくは、みおのうみがだいすきです。およげたり、かいやさかながとれるからです。

ことしのなつやすみは、「ずめ」や「たばこにし」をとって、おばあちゃんにゆがいてもらってたべました。たばこにしはにかかったけど、おいしかったです。おとうさんは、「がぞう」や「さざえ」「あわび」をとってきてくれました。がぞうのおしるはだいきなので、よくおかわりをします。

そして、みおのうみで小さいたいをみつめました。ぴかぴかひかって、たいようみたいでした。あじつりをしていたみおのおじさんが、つりをさせてくれました。「じょうずだなあ。」といってくれて、うれしかったです。ぼくは、おとなになっても、かいやさかなをとりたいたいです。じょうずになりたいので、これからも、おとうさんやみおのひとに、おしえてもらいたいたいとおもいます。

小学校高学年の部

照来小学校 五年 長谷坂 はせさか 咲 さき

今年で新温泉町に合併して、十周年になります。新温泉町には、素晴らしい自然や風景がたくさんあります。

湯村といえは、温泉が有名です。町の中心の荒湯からは、九十

八度の熱湯が一分間に四百リットルも湧き出しています。その湧出量は、千五十年も前から今も変わっていません。春には、泰雲寺のしだれ桜がきれいです。この桜の木は、樹齢約二百五十年で兵庫県の天然記念物に指定されています。

また、浜坂には美しく豊かな海があります。漁業も盛んで、冬になると日本海の名産「松葉ガニ」を食べることができます。私たちは、授業で遊覧船に乗って山陰海岸を見学しました。長い年月をかけてできたいろいろな色や形をした岩石や、動物の形をした岩を見て感動しました。この貴重な自然を守るために、平成二十二年に「世界ジオパーク」として認定されました。春には、田君のバイカモの真っ白なかわいい花が川一面をうめつくします。

そして、私の住んでいる照来は周りが緑の自然に囲まれていて、空気も水もきれいです。春は稲の苗が風に揺れて、心地よいです。秋になると黄金色に変わった穂から、おいしいお米がとれます。そして、私の家の裏の草太山に登ると、照来盆地を囲む七つの村を見下ろすことができます。愛宕山にある但馬牧場公園では、但馬牛や羊、うさぎや鳥などたくさん動物とふれあうことができます。最近では牛を飼っている家は少なくなりましたが、昔は私の家でも牛を飼っていたそうです。照来には雪もたくさん降り、私たちの学校では、毎年二回のスキー教室を楽しみにしています。しかし、最近では若い人が都会に出てしまい、どんどん町の人口が減ってきています。私は大人になっても、この新温泉町に住み続けたいです。そして、豊かな町の自然をいつまでも大切に守っていききたいと思っています。

浜坂中学校 二年 吉澤^{よしけ} ゆうり

私は、北校舎三階から見える浜坂の景色が大好きです。私は、吹奏楽部に所属していて、毎日のように音楽室から日本海の景色を見ます。夏の昼間は、とても濃い水色の空に真っ白なふわふわ雲がいくつも浮かび、日本海は太陽に照らされ、まるで夜景のようになまじく輝く別天地です。特に、秋の日本海と浜坂の夕焼けは、ピンクと赤と青が混じったような不思議な色をしています。景色だけではありません。海の幸や山の幸が、この町にはあふれています。

しかし、今の浜坂は人口が減り続けています。仕事をするために、この町を出てまで働きにいかなければいけないということが、今、問題になっています。

一年生の時の文化祭では、「ふるさと学習」の一環として、浜坂のことを調べ、まとめて一枚の壁新聞を作り上げました。私たちの班は、浜坂で有名な海の幸「のどぐろ」について調べました。「こんなに高級品だったのか。知らなかった。」と思う発見もたくさんありました。魚屋さんへ行き、直接インタビューして実物を見ることができました。その時、「煮付けにしたら、おいしく食べられるよ。」と教えていただきました。食べてみると、口の中で風味が広がり、身はびつくりするほど柔らかかったです。「こんなに美味しい特産物が私たちの住んでいる町にはたくさんあるのだな。」と改めて思いました。他の班も、かに・竹輪・梨・ホタルイカ・どぎ・わかめ・はた・浜大根・但馬牛・栃餅等を調べていました。私は、この新聞作りで、ふるさとを隠れている良さを知りました。

昨年のように、今年も壁新聞を作ります。「浜坂―温故知新」をテーマに、私たちのクラスは自然や風土の変化について探っていきます。今だけを見つめるのではなく、昔のことを学習して、これからの浜坂の未来について考え、それを地域へ発信していきたいと思えます。

私は、昨年の活動を振り返り、調べたら浜坂の良さを知ることができると思いました。そして、その良さを、浜坂の人だけではなく、浜坂を訪れた方たちにも伝えていくことに力を入れたいと思いました。そのためにも、私たちは浜坂の隠れた良さを掘り起こして、知り尽くしていきたいと思えます。

それが、浜坂の人口問題に向き合うことにつながるかわかりません。しかし、この町の宝は、この先残していきたいと思えます。また、日頃の地域のあいさつやボランティアなど、どんな小さなことでも、この町を思い、関わっていかうと思えました。思いだけで終わらせないよう、この町に貢献できる存在になりたいです。「今の私に何ができるのか」と考えると、やはり、浜坂を「知ること」から始めたいと思えます。それを発信し、北前船で栄えた昔以上に、活気ある浜坂にしたいです。

これから、新しい浜坂、新温泉町のために、見えていないものに目を向けます。ふるさとを知り尽くした博士を目指して、勉強して視野を広げていきたいです。

新温泉町教育長賞

小学校低学年の部

浜坂北小学校 三年

志田 和花

わたしのすんでいる新温泉町の中で、一番好きな所は、何と言っても、目の前に広がるサンビーチです。理由は、海がキラキラしていて、砂浜は真っ白でもすてきだからです。海は、夏になるとたくさんの人が遊びに来てとてもにぎやかです。わたしも夏になると、よく海に行って遊びます。たとえば、うきわで海にうかんんだり、貝がらをひろったり、石をなげたりと様々な遊びができます。

そんな夏の海が、毎年、わたしをむかえてくれます。そして、この夏も。

大人になってもこのきれいな海と真っ白な砂浜が、ずっとわたしをむかえてほしいです。そのために、わたしができることは、海をきれいにしたり、これからも海といっしょに遊んだりしていくことだと思います。サンビーチのことをすきな人がもつとふえて、みんなのえがおでいっぱいの新温泉町にしたいです。

小学校高学年の部

浜坂北小学校 四年

前田 啓太

新温泉町はぼくと同じ十才になりました。ぼくは、学校でジオパーククラブに入っています。そこで少し

ずつぼくの住んでいる新温泉町のことがかつてきました。

新温泉町は『世界ジオパーク』に認定されています。き重な地形や地質がかんさつできるすごい所だということを学びました。

山陰海岸で、大昔大きな火山活動があったことも分かりました。夏休みにジオパーク館で化石ほりの体験をしました。めずらしい木の化石が出てきてうれしかったです。大昔の新温泉町の様子を知りとてもおどろきました。

ぼくの家のじゃ口をひねると温泉が出てきます。体がとても温まり、ポカポカと気持ちよくなります。生まれた時から毎日入っているのでみんな健康です。

浜坂の海では、カニ、ホタルイカ、ハタなどおいしい魚がとれます。全国的にもとても有名です。これはぼくの町の自慢です。

ぼくは豊かな自然と海さん物にめぐまれている新温泉町のことを、とてもよく知っているつもりでした。でも、ジオパーククラブで勉強するようになって、町の山や海のかんきょうについていっばい知ることができました。

当たり前に入っていた温泉や、おいしく食べていたエビやカニ、ハタなどの食べ物、実は、当たり前じゃなくて、ぼくたちの町のたから物だと思ふようになりました。

また、大昔からここに住んでいた人が、このジオパークのかんきょうを大切に生活してきたことを忘れないで、ぼくたちもこのかんきょうを大切に守っていかなければならないと思ふました。

ぼくは、この魚がいっばいとれて温泉も気持ちがいいおゆのわく新温泉町に生まれて本当によかったと思います。もつともつと町民が、心をつないで明るいあいさつをかわせる、楽しい新温泉

町にしていきたいです。

中学校の部

夢が丘中学校 三年 中島 卓

なかしま たく

僕は、この新温泉町の未来のために中学生ができることは、たくさんあると思います。

まずは、新温泉町の豊かな自然を生かした、温泉、そして但馬名産の但馬牛など、新温泉町のよさや観光地、そして名所などをもっと広く宣伝し、情報発信をすることです。例えば、みんな協力してポスターを作り、広い範囲に掲示していくことで、たくさんの人に、新温泉町を知ってもらうことができ、それを見て興味を持った人に、新温泉町に来てもらえらると思います。

次に、環境美化活動をもっと推進し、きれいな町づくりに努めるとよいと思います。ある日、家族で出かけた先で、車窓から道のそばに花がきれいに植えられている風景を目にしました。僕はその時、心が明るくなりました。

花を植えることは、人の気持ちを癒し、環境もよくし、一石二鳥です。新温泉町でも町をいろどる花を植えることで、住んでいる人たちはもちろん、町外から来た人たちにも喜んでもらい、新温泉町のよさが、たくさんの人の中に広まっていくと思います。

また、新温泉町をよくしていくために、ボランティア活動を推進していくことも大切だと思います。僕は、中学生になって様々なボランティア活動をしてきました。その中で、清正公園の階段に落ちている落ち葉の掃除のことは、今でもよく覚えています。

落ち葉を集めているときに、観光客の方たちに「階段がきれいになりましたね。」と笑顔で言われた時、とてもうれしくなりました。ボランティア活動を通して、色々な人たちとの交流が生まれ、町にも笑顔が増え、町がよりよい雰囲気になっていくと思います。

その他にも、地域に残る行事を、伝統として次の世代へ継承していくことも必要だと思います。新温泉町には地域の芸能や祭りなど伝統的なものがたくさんあります。その一つ一つを大切にしていきたいことで、地域の人たちの絆が一層深まると思います。伝統行事を継承していくためには、一人でも多くの人の参加が必要です。地域が一丸となって盛り上げ、僕たち中学生も、積極的に参加していきたいと思います。

新温泉町は自然環境に恵まれ、住みやすい町です。しかし、少子高齢化が進み、若者の数が減っていく状況では、町の活気も失われていくと思います。これまで挙げてきた、情報発信、環境美化、ボランティア活動、伝統文化の継承などについては、僕たち中学生でもできることがあります。十年後、二十年後の新温泉町を、活気ある町にするために、僕たちにできることは何かを、これから考えていきます。